

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校社会（小学6年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ 縄文時代のくらしの様子について理解している 設問3(1)
- ◇ 東大寺の大仏がつくられた理由について、当時の世の中の様子と関連付けて説明することができる 設問6(4)
- ◆ 資料を基に、選挙権年齢が引き下げられた理由として考えられることを説明することができる 設問2(4)
- ◆ 平城京と鎌倉幕府の位置を理解している 設問6(1)

小学校社会の課題を解決するための授業改善に取り組みましょう（☑してみましょう。）

- 資料を基に、政治の仕組みや働きの意味を多角的に考えたり、歴史上の出来事的位置を示したりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
 - 資料から読み取った情報と社会的事象とを関連させ、児童が複数の立場や意見を踏まえて考えたことを互いに説明したり議論したりする場面を設定している。
 - 歴史上の出来事的位置（平城京や鎌倉幕府の場所）や広がりについて、地図などの資料で調べ、白地図に整理してまとめる活動を設定している。

小学校理科（小学6年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ 人の呼吸の働きについて、実験で得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈することができる 設問1(2)
- ◇ 電磁石の性質について、実験で得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈することができる 設問2(2)
- ◆ だ液の働きについて、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想することができる 設問1(4)
- ◆ 簡易検流計という器具の名称を理解し、その正しい扱い方を身に付けている 設問2(3)

小学校理科の課題に対応した指導改善のポイント（☑してみましょう。）

- 実験の結果を見通して問題を解決するまでの道筋を構想したり、観察・実験器具の適切な使い方を捉えたりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
 - 検証計画の立案場面では、実験の手順を考えるだけでなく、自分や他者の予想が確かめられた場合に得られる結果を見通す（予想どおりだったらどのような結果になるかを考える）活動を設定している。
 - 観察・実験の実施場面では、実験器具の正しい名称を使用し、器具を使用する目的や適切な使い方を捉えることができるように一人一人が器具の操作を行う活動を設定している。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,843	63.5	0.6	61.1	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	物質・エネルギー	6		49.7		0.5	60.0	▼
	生命・地球	13		69.8		0.7	61.5	
評価の観点	知識・技能	9		66.0		0.8	64.4	
	思考・判断・表現	10		61.3		0.5	58.0	
問題形式	選択式	13		66.1		0.3	63.1	
	短答式	3		63.0		1.7	60.0	
	記述式	3		52.7		1.2	53.3	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点			問題形式		正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			物質・エネルギー	生命・地球				知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県	県			
1	(1)	石灰水を使って二酸化炭素の有無を調べることができることを理解している	○					○			○			91.0	0.0	70		
1	(2)	人の呼吸の働きについて、実験で得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈することができる	○					○				○		85.5	0.2	60		
1	(3)	動物の呼吸について、見つけた資料を、問題に対応する視点で分析して、解釈することができる	○					○			○			89.9	0.0	70		
1	(4)	だ液の働きについて、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想することができる	○					○			○			46.0	0.3	50	○	
1	(5)	だ液の働きについて、自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善することができる	○					○			○			54.0	0.2	60	○	
2	(1)	身の回りには電磁石（磁石）に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している	○					○			○			47.6	0.0	70	○	
2	(2)	電磁石の性質について、実験で得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈することができる	○					○			○			68.0	0.2	50		
2	(3)	簡易検流計という器具の名称を理解し、その正しい扱い方を身に付けている	○					○				○		21.3	1.5	50	○	
3	(1)	晴れと曇りは、空全体の雲の量で決まることを理解している	○					○			○			81.6	0.2	70		
3	(2)	雨の日は気温の変化が小さいことを理解している	○					○				○		50.4	0.5	60	○	
3	(3)	土と砂の水のしみ込み方について、実験で得た結果を、自分で発想した予想が正しかったかどうかの視点で分析して、解釈することができる	○					○				○		51.9	0.9	40		
3	(4)	天気と雲の様子について、観察結果の正しい記録の仕方を身に付けている	○					○			○			88.9	0.1	70		
3	(5)	台風がもたらす天気の変化や台風が接近しているときの安全な行動の仕方について理解している	○					○			○			95.0	0.2	70		
4	(1)	空気や水の温度変化に伴う体積変化について、実験で得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈することができる	○					○			○			55.9	0.5	70	○	
4	(2)	金属の温度変化に伴う体積変化について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想することができる	○					○			○			55.5	0.4	60	○	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等						評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			物質・エネルギー	生命・地球					知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
4	(3)	金属の温度変化に伴う体積変化について、実験で得た結果を、日常生活において関連する事物・現象の視点で分析して、解釈することができる	○						○			○				50.1		0.6	60	○
5	(1)	食物連鎖を理解している	○						○				○			82.3		3.4	70	
5	(2)	雨が降った後の川を流れる水の量や速さについて、自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈することができる	○						○					○		55.7		2.1	60	○
5	(3)	地球から見て、月が東の位置、太陽が西の位置にあるとき、月は満月の形に見えることを理解している	○						○			○				35.6		0.8	50	○